

## 伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。

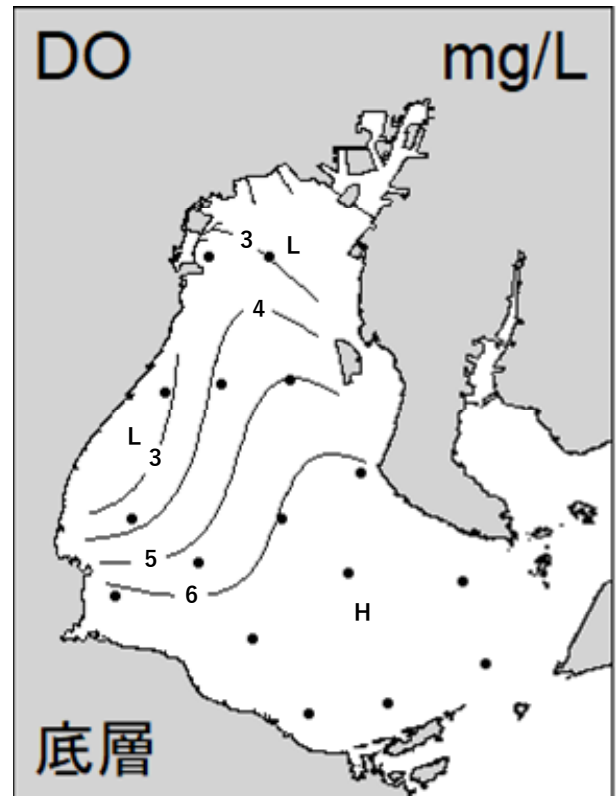
### 1 1月5日の調査結果

11月5日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で18.2～20.7℃、10mで19.0～21.3℃、底層で19.5～23.3℃の範囲にあり、表層、10m及び底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で5.0～7.4 mg/L、10mで2.7～7.0 mg/L、底層で2.7～6.7 mg/Lの範囲にあり、表層と10mは平年よりやや低め、底層は平年並となっていました。

6月の観測時（6月2日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅していました。

伊勢湾では、海水の上下混合がおりやすい時期を迎えており、今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図